

令和元年度工事監査 措置状況報告書

1 指摘事項

なし

2 意見・要望事項

意 見 ・ 要 望	
(1) 雨水流入への対応について	
	<p>本体育館の入口は、道路面より低い位置にあることから、台風やゲリラ豪雨の際に、大量の雨水が施設内に流れ込むおそれがあると考えられる。</p> <p>そのため、通常の施設より排水設備を十分に施すなどの対応を行うということであるが、近年の気象状況から設計上の想定を超える事態の発生も考慮しておく必要があると思われる。浸水の危険をできる限り回避する複数の方策を立てるとともに、万が一、雨水が流入した場合でも、被害を最小限にとどめる対策を講じられたい。</p>
	(施設課)
所 属 名	措 置 状 況 等
施設課	<p>設計上では十分な排水能力を備えているが、より一層の安全を確保するために、更なる排水溝の設置や止水板の設置も検討しているところである。</p> <p>また、万が一の浸水時における対応について、当該施設の指定管理者との間で調整を行っていく。</p>

意 見 ・ 要 望	
(2) 工事技術調査について	
	<p>平成29年度の東山小学校改築等工事（後期）の工事監査に係る工事技術調査では、体育倉庫の地下ピット点検口の図面上の記載漏れがあったが、今回の工事技術調査でも、「ピット点検口を竣工図に図示されたい。」と、類似した指摘がなされていた。前回の工事技術調査の結果が生かされていないことは誠に遺憾である。以前の監査結果も踏まえながら、一層適切な工事となるように努められたい。</p>
	(施設課)
所 属 名	措 置 状 況 等
施設課	以前の監査指摘事項と類似の内容が、設計に反映されていなかった点については反省し、他の監査結果についても再確認し、指摘事項を踏まえながら、工事を進めていく。

意見・要望

(3) 工期について

本報告をまとめる段階で、新たな補修工事が必要となり、令和元年10月31日までとする工期が約2ヶ月延びる旨の説明があった。工期変更等の議案が区議会で議決された後には、一層適切な工期の管理等が求められる。

また、工期末から開館までの準備期間が短くなることによる影響も懸念される。来年4月の開館に向け、全庁的な調整はもとより、本体育館の指定管理者や関係団体とも十分に連携し、円滑に準備が進められるように取り組まれたい。

(施設課、スポーツ振興課)

所 属 名	措 置 状 況 等
施設課	今後、工事工程の精査と適正な工事監理を行い、変更した工期を順守するとともに、来年4月の開館に向けた関係者の調整を十分に行っていく。
スポーツ振興課	工期が約2ヶ月延び、準備期間は約3ヶ月となるが、この期間で円滑に開館できるよう、現在、関係所管課、指定管理者及び関係団体と連携しながら適宜準備を進めている。 今後、開館に向けて、保管物品の移転作業、備品の整備等に取り組んでいく。